

公募説明会（2024年度第1回採択事業）

休眠預金事業の概要



JANPIA

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

2025年1月10日

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

助成事業部 プログラムオフィサー 見上 敦子

- 1. 休眠預金・休眠預金事業ってなに？**
- 2. 休眠預金事業の特徴（優先課題・ガバコン・評価について）**
- 3. ご参考情報**

休眠預金・休眠預金事業って何？



2009年1月1日以降で、10年以上取引のない口座にある預金等、これを「休眠預金」と呼びます。

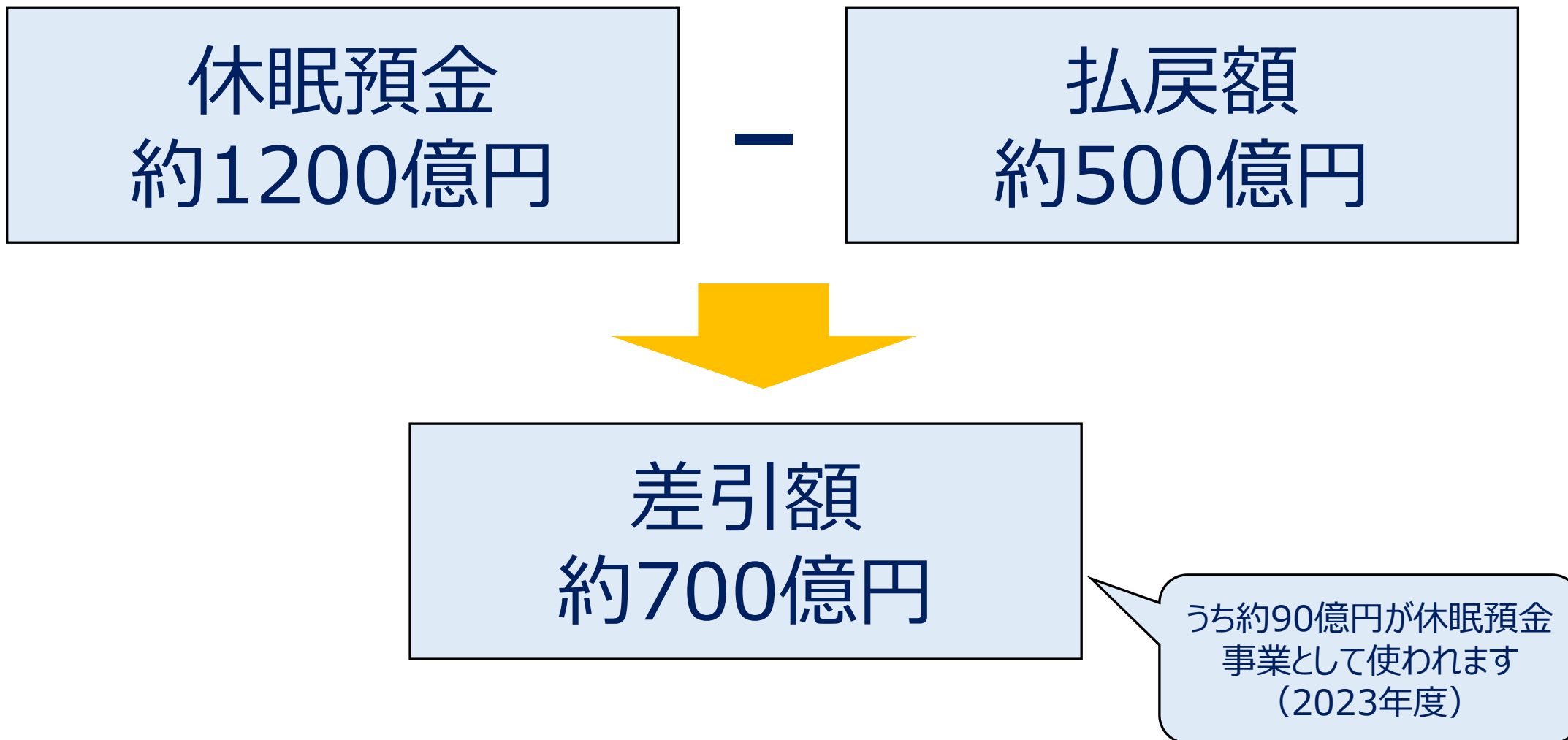
その休眠預金を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度が休眠預金活用事業です。

休眠預金活用事業の原資は国民の資産ということになります。

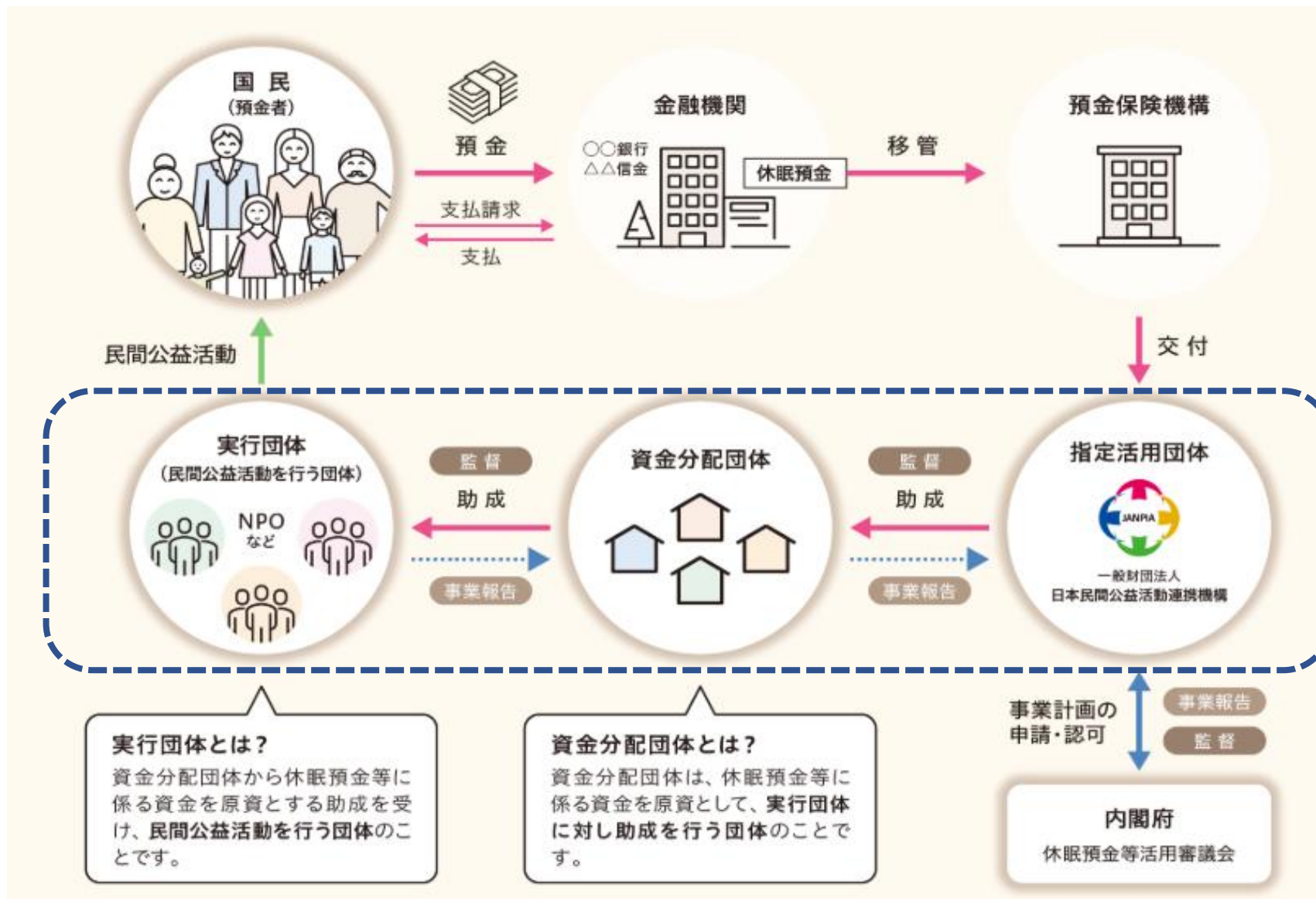
休眠預金になっても払戻は可能です！



休眠預金ってどれくらいあるのですか？



制度の概要と休眠預金等活用の流れ



三層構造



緊急支援助成（最長1年間）

* 年間を通し随時募集

- 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（2020年度）
- 新型コロナウイルス対応支援助成（2021年度）
- 新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠
- 原油価格・物価高騰、子育て及び新型コロナ対応支援

目の前にいる困っている人への支援提供を最優先する事業

短期で着実に支援を届けるため、
申請時点で「課題」と「解決手段」の特定ができていることを前提に、
事業終了まで一気に走り抜ける

通常枠（最長3年間）

- 2019年度～（2021年度から年2回公募）

社会課題の解決をめざし長期的に取り組む事業

目指す社会の改善状況（アウトカム）にむけて、
「課題」と「解決手段」の妥当性を確認し事業設計した上で
腰を据えて取り組み、その効果を後々も持続させる！

数字で見る休眠預金等活用事業の全体像



■ 助成・出資事業数

(資金分配団体・活動支援団体(助成)による)

215事業

(累計)

通常枠(助成)	121事業
緊急支援枠(助成)	88事業
活動支援団体(助成)	4事業
出資	2事業

■ 助成・出資予定総額※1

約331.7億円

(累計)

通常枠(助成)	206.9億円
緊急支援枠(助成)	114.9億円
活動支援団体(助成)	1.9億円
出資	8.0億円

■ 資金分配団体・活動支援団体総数

(コンソーシアム構成団体含む累計団体数)

317団体

資金分配団体・活動支援団体215団体
+コンソーシアム構成団体102団体※2

複数事業採択を除く、
資金分配団体数

136団体

資金分配団体・活動支援団体 96団体
コンソーシアム構成団体 40団体※2

■ 実行団体数(累計)

1312団体

通常枠(助成)	551団体
緊急支援枠(助成)	761団体



※1 2020年度に実施した2019年度採択団体向けの新型コロナウイルスに対応した助成3.5億円については、通常枠(助成)に加算している。また、各年度の採択公表時に掲載した助成金額を足し合わせ、端数を切り捨て処理している。
※2 コンソーシアムにおいて、構成団体・非幹事団体として採択されている団体のみをカウントしている。出資における共同申請者も含む。

休眠預金制度で求められること（全事業共通）



公募要領における「選定基準」

ガバナンス・コンプライアンス	事業計画書に示す事業を適確かつ公正に実施できるガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか
事業の妥当性	社会状況や課題の問題構造の把握が十分に行われており、資金分配団体が設定した課題に対して妥当であるか
実行可能性	業務実施体制や計画、予算が適切か
継続性	助成終了後の計画（支援期間、出口戦略や工程等）が具体的かつ現実的か
先駆性（革新性）	社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか
波及効果	事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて社会課題の解決につながることを期待できるか
連携と対話	多様な関係者との協働、事業の準備段階から終了後までの体系的な対話が想定されているか

透明性

助成が終わったら終わりとならないような工夫を！

従来事業・既存事業との差異化が求められます！

説明責任と成果の可視化



国民に対する説明責任と成果の可視化のため、休眠では以下をルーティンにしています。
これらの情報をJANPIAの「助成システム」に登録していただくことで、JANPIAは分析・管理に活用します。

事業の進捗報告

月次MTG等により資金分配
団体への事業の進捗報告を
行います。

収支管理

助成金は指定口座で管理し、
出入金の管理を行います。
振込、カード決済が基本にな
ります。

ガバコン体制 の確立

規程類の整備を行うなどガバナン
ス・コンプライアンス体制の確立に
取り組みます。

評価

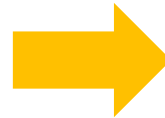
目指すゴールに向けてどの程度進
捗したか、目標（アウトカム・アウト
プット）は達成されたのかを測り、
自己評価します。

情報公開

規程類や事業について、HP
等で広く一般に公開します。

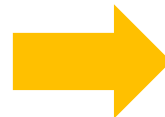
資金分配団体・実行団体の皆様からいただいた 「休眠預金事業に参画してここが良かった！」

最長3年間の複数年度事業、年度ベースでの助成金の前払いで、家賃や人件費にも使えるところ



創意工夫の余地となるような柔軟性のある資金の活用

パートナーシップに基づく伴走支援
(非資金的支援)



事業計画書の書き方から事業実施上のアドバイス、
評価の計画・実施、組織基盤強化など、
資金分配団体からの多種多様な支援

組織の信頼性、信用性の獲得・向上



事業実施実績、報告書などの情報公開、
ガバコンの整備などに信頼の獲得

分野の幅広い関係者とのつながり



資金分配団体やJANPIAを通じた関係者とのつながり、
実行団体同士の横のつながりなど

ご清聴ありがとうございました。



JANPIA

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構